

研究室名	<b>加藤彰研究室 学会発表</b>
------	--------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	一般社団法人日本機械学会関東支部第61回学生員卒業研究発表講演会
演題名	軽自動車の実路走行におけるCO <sub>2</sub> 排出低減手法の検討
発表者	○眞保 享央※, <u>加藤 彰</u> , 熊田 暉※, 新居 守人※
内容	<p>2021年に英国グラスゴーにて開催された国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）では、世界平均気温の上昇を1.5℃を目標と明記している。したがって、内燃機関を使用する自動車でも燃費性能の向上は重要である。</p> <p>CO<sub>2</sub>の排出は自動車の燃費に反比例するため、実路における燃費および排出ガスの研究事例も少なくない。しかしながら、各種モード試験と実路における燃費を比較検討した研究は少ない。したがってモード試験と実路試験における燃費の差異とその原因を解明することは重要であると考え、実路におけるCO<sub>2</sub>排出低減への対策手法を提示することを研究目的とする。</p> <p>2020年度までにガソリン車と1モータ、2モータ方式のハイブリッド車を用いて実路燃費試験を行った。2021年度は、試験車両を日本における新車販売台数の内、約4割を占める軽自動車に変更し、前年度までと同様にエアコン（以降AC）を外気温度が比較的高い夏季にACオン（実路1次）、比較的低い秋季にACオフ（実路2次）の実路走行試験を行った。各種シャシダイナモメータ（以降CD）試験を行い、結果を解析したので報告する。</p>
関連画像	